



2019年5月18日

各位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 古江 博
(TEL. 0996-68-1140)

2019年4月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年4月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	555	74.4%	13.2%	△31.8%
F P D分野	185	24.9%	9.5%	△48.6%
その他分野	4	0.6%	24.7%	△32.9%
合計	745	100.0%	12.4%	△37.0%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/5	2018/6	2018/7	2018/8	2018/9	2018/10
半導体分野	785	811	741	675	606	571
F P D分野	360	344	322	239	147	158
その他分野	10	8	7	37	22	3
合計	1,156	1,165	1,071	953	776	733

区分	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4
半導体分野	534	540	521	458	490	555
F P D分野	174	164	174	157	169	185
その他分野	26	4	4	4	3	4
合計	736	709	701	620	663	745

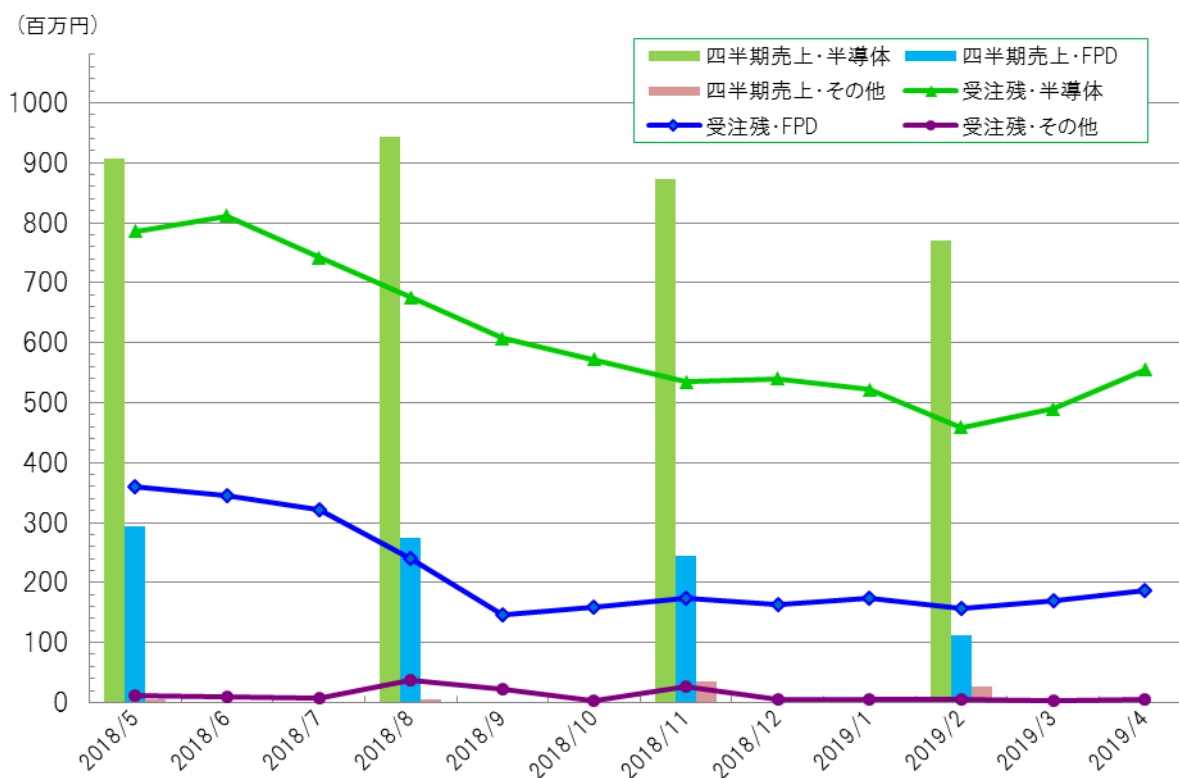
3. 月次受注残高の概況

2019年4月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は回復傾向にあり、対前月増減率は13.2%増、対前年同月増減率では31.8%減の555百万円となりました。FPD分野においても、中小型パネル向けの受注が回復傾向にあることで、対前月増減率は9.5%増、対前年同月増減率では48.6%減の185百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年4月末の受注残高は、対前月増減率12.4%増、対前年同月増減率37.0%減の745百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、メモリ向けの部品需要が再開しており、全体的に回復傾向が出始めております。ただし、一部の顧客については回復が遅れており、DRAMやNANDなど得意分野によって濃淡が分かれる状況がしばらく続く予想です。FPD分野では、中国における中小型有機EL設備投資の案件が確定し始めており、当社の受注も継続的に拡大していく見通しを持っております。その他分野につきましては、当社生産キャパの空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っており、近く受注できる見通しを持っております。しかしながら、全分野において、中国の国策的な補助金に影響を受けており、昨今の米中間問題による補助金の動向には注意が必要と思われまます。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。